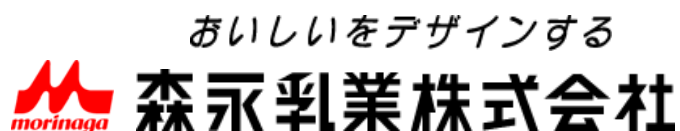


平成21年3月期
第2四半期決算説明資料
(平成20年4月～平成20年9月)



平成20年11月
証券コード：2264

当資料の構成

I 連結決算関連

- (1) 連結の範囲等
- (2) 要約連結損益計算書
- (3) 要約連結貸借対照表
- (4) 要約連結キャッシュ・フロー計算書
- (5) その他

II 単体決算参考資料

- (1) 売上高の状況
- (2) その他

※ 当資料の表示等に関する注記

- ①当第2四半期…平成20年9月期、前第2四半期…平成19年9月期、前期…平成20年3月期
なお、「第2四半期」は累計期間（4月1日～9月30日）を言う
- ②金額の表示単位…表示単位未満切捨て
- ③前同差、前同比…それぞれ対前年第2四半期増減額、増減率を示す
- ④前期差…前期末との増減額を示す

I 連結決算関連

(1) 連結の範囲等

	当第2四半期	前 期
連結子会社	30社	30社
持分法適用非連結子会社	4社	4社
持分法適用関連会社	—	—

(2) 要約四半期連結損益計算書(累)

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	前同差	前同比	説明
売上高	312,275	100.0	315,010	100.0	△2,735	△0.9	①
売上原価	219,834	70.4	220,779	70.1	△944	△0.4	
売上総利益	92,440	29.6	94,230	29.9	△1,790	△1.9	②
販売費及び一般管理費	83,199	26.6	85,920	27.3	△2,721	△3.2	③
営業利益	9,241	3.0	8,310	2.6	930	+11.2	
営業外収益	1,252	0.4	1,160	0.4	91	+7.9	④
営業外費用	1,192	0.4	1,172	0.4	20	+1.7	④
経常利益	9,301	3.0	8,299	2.6	1,002	+12.1	
特別利益	515	0.2	650	0.2	△135	△20.8	⑤
特別損失	1,343	0.4	1,496	0.5	△153	△10.2	⑤
税金等調整前四半期純利益	8,472	2.7	7,452	2.4	1,020	+13.7	
法人税、住民税及び事業税	4,579	1.5	3,928	1.2	651	+16.6	
少数株主利益	0	0.0	71	0.0	△70	△98.9	
四半期純利益	3,892	1.2	3,452	1.1	439	+12.7	

①売上高の状況

(単位：百万円、%)

連結事業セグメント	当第2四半期	構成比	前第2四半期	構成比	前同差	前同比
1) 食品事業	300,394	96.2	302,846	96.1	△2,451	△0.8
2) その他事業	16,835	5.4	17,482	5.5	△646	△3.7
消去又は全社	△4,955	△1.6	△5,318	△1.6	362	△6.8
合 計	312,275	100.0	315,010	100.0	△2,735	△0.9

「その他事業」には、飼料、プラント設備の設計施工、不動産の賃貸、運輸、倉庫業等が含まれる。

食品事業

価格改定の影響により販売数量が減少したこともあり、前同を下回った。

その他事業

プラント設備の設計施工部門が、グループ内の大規模設備投資がおおむね一巡したことにより、前同を下回った。

②売上総利益

価格改定は行なったが、販売数量の減少に加え原材料価格上昇等の影響もあり、前同比1.9%減(△1,790百万円)となった。

③販売費及び一般管理費の状況

(単位：百万円、%)

	当第2四半期		前第2四半期		前同差	前同比
		構成比		構成比		
主要な項目 (販売費)						
拡売費	32,788	39.4	34,925	40.6	△2,136	△6.1
運送費・保管料	24,490	29.4	24,526	28.5	△35	△0.1
従業員給料・賞与	6,279	7.5	6,472	7.5	△192	△3.0
(一般管理費)						
従業員給料・賞与	4,442	5.3	4,386	5.1	55	+1.3
その他	15,198	18.4	15,610	18.3	△412	△2.6
合計	83,199	100.0	85,920	100.0	△2,721	△3.2

主な増減要因

- ・販売費は、売上高減少に伴い減少したほか、ローコストオペレーションを徹底したことで減少している。

④営業外損益の状況

(単位：百万円、%)

	当第2四半期		前第2四半期		前同差	前同比
		売上比		売上比		
営業外収益	1,252	0.4	1,160	0.4	91	+7.9
受取利息及び配当金	439	0.1	415	0.1	23	+5.6
持分法投資利益	7	0.0	83	0.0	△76	△91.0
その他	805	0.3	660	0.2	144	+21.9
営業外費用	1,192	0.4	1,172	0.4	20	+1.7
支払利息	877	0.3	859	0.3	17	+2.1
その他	314	0.1	312	0.1	2	+0.7

主な増減要因

- ・持分法子会社の損益悪化により持分法投資利益が減少している。
- ・営業外収益の「その他」には斡旋差益等が含まれている。

⑤特別損益の状況

(単位：百万円、%)

	当第2四半期		前第2四半期		前同差	前同比
		売上比		売上比		
特別利益	515	0.2	650	0.2	△135	△20.8
固定資産売却益	421	0.1	451	0.1	△29	△6.6
貸倒引当金戻入益	93	0.0	-	-	93	-
投資有価証券売却益	-	-	177	0.1	△177	-
その他の特別利益	-	-	21	0.0	△21	-
特別損失	1,343	0.4	1,496	0.5	△153	△10.2
固定資産処分損	375	0.1	292	0.1	82	+28.2
(財)ひかり協会負担金	824	0.3	841	0.3	△17	△2.0
減損損失	78	0.0	-	-	78	-
貸倒引当金繰入額	-	-	295	0.1	△295	-
投資有価証券減損処理額等	-	-	41	0.0	△41	-
その他の特別損失	66	0.0	26	0.0	39	+150.5

主な内容

- ・固定資産売却益は、主として遊休土地の売却によるものである。
- ・減損損失は遊休土地を時価相当額まで減損処理を行なったもの。

(3) 要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期	前期末	前期差	説明
流動資産	124,311	110,262	14,048	
現金預金	20,601	4,849	15,751	①
売上債権	59,647	63,130	△3,483	②
たな卸資産	32,304	32,326	△22	
その他	11,757	9,955	1,802	③
固定資産	245,127	243,211	1,915	
有形固定資産	213,689	211,052	2,636	④
無形固定資産	3,975	3,788	187	
投資その他	27,462	28,370	△908	
資産計	369,438	353,474	15,964	

	当第2四半期	前期末	前期差	説明
流動負債	153,977	142,710	11,267	
手形・買掛金	71,792	62,598	9,194	⑤
短期借入金	11,570	11,772	△202	⑥
コマーシャル・ペーパー	5,000	4,000	1,000	⑥
一年内償還社債	10,500	10,500	-	⑥
その他	55,114	53,840	1,274	⑦
固定負債	115,321	113,015	2,305	
社債	60,350	60,600	△250	⑥
長期借入金	32,060	30,412	1,647	⑥
その他	22,911	22,002	908	
負債計	269,298	255,726	13,572	
純資産計	100,139	97,747	2,391	
負債・純資産計	369,438	353,474	15,964	

主要項目の内容および増減要因

	前期差	主な要因
① 現金預金	15,751	社債償還資金のため。
② 売上債権	△3,483	流動化による早期資金化。
③ その他	1,802	親会社の未収金増加などによる。
④ 有形固定資産	2,636	設備投資10,984百万円 減価償却費△7,843百万円 売却減失等△505百万円 設備投資は主として単体の別海工場、連結子会社の沖縄森永乳業の新工場など。
⑤ 手形・買掛金	9,194	季節的要因（3月より9月のほうが取引高が多い）に加え、原料高の影響のため。
⑥ 借入金・社債	2,195	主として子会社の設備投資資金需要などのため借入金が増加した。
⑦ その他	1,274	リース会計を採用したため当期よりリース債務が発生したことなどによる。

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,466	19,886	11,580
税金等調整前四半期純利益	8,472	7,452	1,020
減価償却費	7,901	8,678	△777
売上債権の増減額(増加：△)	3,470	△11,185	14,656
たな卸資産の増減額(増加：△)	13	△392	405
仕入債務の増減額(減少：△)	9,209	14,332	△5,123
未払費用の増減額(減少：△)	4,181	3,269	912
法人税等の支払額	△1,711	△2,392	680
その他	△71	122	△194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,236	△17,084	848
有形固定資産購入額	△16,691	△15,369	△1,321
有形固定資産売却額	506	620	△114
投資有価証券の取得による支出	△23	△2,747	2,724
その他	△28	411	△440
財務活動によるキャッシュ・フロー	562	2,220	△1,658
長期債務の増減額(減少：△)	1,267	2,261	△994
短期債務の増減額(減少：△)	937	1,526	△588
配当金の支払額	△1,517	△1,518	0
その他	△126	△49	△77
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	10	3
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	15,806	5,033	10,773
現金及び現金同等物の期首残高	3,974	3,759	214
連結子会社増加に伴う期首残高増加額	-	3,679	△3,679
連結子会社減少に伴う期首残高減少額	-	△10	10
現金及び現金同等物の四半期残高	19,780	12,461	7,319
借入金・社債残高	119,480	117,623	1,856
フリーキャッシュ・フロー	15,229	2,801	12,428

売上債権の減少、四半期純利益の増加などにより営業キャッシュ・フローが増加し、当第2四半期のフリーキャッシュ・フローは前同に比べ124億円増となった。

なお、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高158億円は主として社債償還の資金である。

(5) その他

① 設備投資および減価償却費の推移

(単位：億円)

	設備投資額		減価償却費	
	実績	(前年差)	実績	(前年差)
平成18年3月期	284	(98)	165	(2)
平成19年3月期	290	(6)	165	(0)
平成20年3月期	288	(△2)	178	(13)
平成21年3月期(見込)	228	(△60)	170	(△8)
平成20年3月期第2四半期	127	(△8)	86	(7)
平成21年3月期第2四半期	109	(△17)	78	(△7)

② 従業員数の推移

	9月末		3月末	
	実績	(前年差)	実績	(前年差)
平成17年3月期	6,390名	(△55名)	6,195名	(△66名)
平成18年3月期	5,966名	(△424名)	5,815名	(△380名)
平成19年3月期	5,896名	(△70名)	5,718名	(△97名)
平成20年3月期	5,979名	(83名)	5,799名	(81名)
平成21年3月期	5,867名	(△112名)		

注) 上記①②の前年差は、それぞれ前年同期との差を示している。

II 単体決算参考資料

(1) 売上高の状況

(単位：百万円、%)

製品分類	金額					
	当第2四半期	構成比	前第2四半期	構成比	前同差	前同比
市乳計	106,542	45.1	109,647	45.8	△3,104	△2.8
牛乳類	37,640		37,177		462	+1.2
乳飲料等	36,923		37,112		△189	△0.5
ヨーグルト	23,914		26,685		△2,770	△10.4
プリン等	8,065		8,672		△607	△7.0
乳製品計	45,680	19.3	45,471	19.0	209	+0.5
練乳	2,229		2,136		93	+4.4
粉乳	17,861		20,707		△2,845	△13.7
バター	5,441		5,654		△212	△3.8
チーズ	20,147		16,973		3,174	+18.7
アイスクリーム	32,081	13.6	31,329	13.1	751	+2.4
その他計	52,144	22.0	52,942	22.1	△797	△1.5
飲料	19,635		21,305		△1,669	△7.8
その他	32,508		31,636		872	+2.8
合計	236,448	100.0	239,390	100.0	△2,941	△1.2

(注) 数量の単位は、乳製品はt o n、市乳、アイスクリームはk l で表示
 その他計中のその他には、ゼリー、クリーム類などが含まれる

主な増減要因

市乳計

牛乳類…新製品「カルシウムの達人」の好調もあり、前年を上回りました。
 乳飲料類…「リプトンミルクティー」が好調に推移したものの、「カフェラッテ
 プレミア」が前年を下回ったこともあり、全体では減収となりました。
 ヨーグルト…「アロエヨーグルト」やプレーンヨーグルト等が前年を下回ったこと
 などにより、全体でも減収となりました。
 プリン等…「黄金比率プリン」が好調に推移したものの、その他の製品が前年を下
 回り、全体では減収となりました。

乳製品計

練乳…家庭用、業務用ともに前年を上回り、全体でも増収となりました。
 粉乳…調製粉乳は、国内市場が縮小傾向の中で前年を下回り、また「クリープ」も
 苦戦したことから、全体でも前年を下回りました。
 チーズ…「スライスチーズ」が好調に推移し、全体を牽引したことによって、前年を
 上回りました。

アイスクリーム…「PINO (ピノ)」「PARM (パルム)」「クリスピーナ」などの
 売上増加により、全体でも前年を上回りました。

その他計

飲料…サンキストジュースが前年を下回ったことなどにより、全体でも減収となり
 ました。
 その他…流動食が好調に推移し、全体でも前年を上回りました。

(2) その他

①設備投資および減価償却費の推移

(単位：億円)

	設備投資額			減価償却費	
	実績	(前年差)	うち生産設備 実績 (前年差)	うち販売設備 実績 (前年差)	実績 (前年差)
平成17年3月期	118	(△15)	92 (△13)	26 (△2)	117 (△5)
平成18年3月期	251	(133)	226 (134)	25 (△1)	116 (△1)
平成19年3月期	262	(11)	241 (15)	21 (△4)	123 (7)
平成20年3月期	210	(△52)	191 (△50)	19 (△2)	132 (9)
平成21年3月期見込	158	(△52)	138 (△53)	20 (1)	120 (△12)
平成20年3月第2四半期	73	(△52)	62 (△52)	11 (0)	64 (8)
平成21年3月第2四半期	65	(△8)	55 (△7)	10 (△1)	55 (△9)

②従業員数の推移

	9月末 実績 (前年差)	3月末 実績 (前年差)
平成17年3月期	3,382名 (△51名)	3,092名 (△165名)
平成18年3月期	3,184名 (△198名)	3,087名 (△5名)
平成19年3月期	3,165名 (△19名)	3,036名 (△51名)
平成20年3月期	3,159名 (△6名)	3,068名 (32名)
平成21年3月期	3,165名 (6名)	

注) 平成17年3月期の3月末より、出向者等を除く就業人員数で表示している。
 なお、平成17年3月期3月末の出向者は181名、平成18年3月期9月末の出向者は188名。

③集乳量の推移

(単位：千トン)

	集乳量		
	実績 (前年差)	うち北海道 実績 (前年差)	うち都府県 実績 (前年差)
平成17年3月期	818 (△2)	460 (11)	358 (△13)
平成18年3月期	780 (△38)	475 (15)	305 (△53)
平成19年3月期	811 (31)	467 (△8)	344 (39)
平成20年3月期	839 (28)	485 (18)	354 (10)
平成20年3月第2四半期	415 (16)	236 (7)	179 (10)
平成21年3月第2四半期	414 (△1)	249 (13)	165 (△14)

注) 上記①②③の前年差は、それぞれ前年同期との差を示している。